

# 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路整備課課  
担当課長名：寺澤 文彦

事業名	主要地方道 阿南相生線 新野工区		事業区分	主要地方道	事業主体	徳島県	
起終点	自：徳島県阿南市新野町花坂 至：徳島県阿南市新野町入田			延長	1.2km		
<b>事業概要：</b> 主要地方道阿南相生線は、阿南市橘町から新野地区を經由し、那賀町に至る延長約26kmの路線である。整備区間の現道は、3～4m程度と非常に狭小で、諸車輛通行に支障をきたしており、また、新野高等学校の通学路にもかかわらず、歩道等の整備ができていないことから、道路交通の円滑化を目的とし、自歩道を設置したバイパス方式で整備するものである。							
平成10年度事業化		-		平成10年度用地着手		平成10年度工事着手	
全体事業費	27 億円		事業進捗率	95 %		供用済延長	0.2 km
計画交通量	4,900台/日						
費用対効果分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年	
	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)		(残事業)/(事業全体)			
	1.1	0.4/36.9億円		22.0/41.4億円		平成29年	
	(残事業)	事業費：0.1/36.6億円		走行時間短縮便益：19.1/35.2億円			
	56.4	維持管理費：0.3/0.3億円		走行経費減少便益：2.4/5.1億円			
		交通事故減少便益：0.5/1.2億円					
感度分析の結果	【事業全体】交通量：B/C=1.0～1.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.0～1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.2（事業期間±1年）			【残事業】交通量：B/C=50.8～62.0（交通量±10%） 事業費：B/C=50.6～63.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=53.8～59.1（事業期間±1年）			
<b>事業の効果等</b> ■ 国土・地域ネットワークの構築：化学製品などの工場製品及び人参、椎茸などの農産物における物流の効率化、第22番札所平等寺など、県南地域における観光地への向上。 ■ 災害への備え：避難所、ヘリコプター降着適地など、防災施設への強化による地域防災力の向上。 ■ 安全で安心できる暮らしの確保：鉄道立体交差化による現道踏切周辺の渋滞緩和、歩道設置による通学時などの自転車・歩行者の安全確保。							
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ■ 当該事業箇所の地元住民等から、現道の幅員狭小による不便さや歩行者等への危険を感じている意見が多く、当該事業を実施することにより、これらの解消に期待が寄せられている。							
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b> ■ 平成23年4月：「一般国道55号 桑野道路」が事業化。 ■ 平成24年4月：「一般国道55号 福井道路」が事業化。 ■ 平成25年11月：「一般国道55号 阿南道路」の阿南市津乃峰町西分～橘町大浦(L=1.7km)が部分供用。							
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ■ 平成23年度までに全延長1.2kmのうち現道拡幅部分約0.2kmが供用済。平成28年度にJRアンダーパス擁壁工事が完了し事業進捗率が98%、また、用地進捗率が99%となっている。 ■ 残事業はバイパス部1.0kmの道路附属物工、舗装工等の整備							
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ■ 今後も引き続き用地取得及び工事促進に取り組み、平成30年度の供用を目指す。							
<b>施工の構造や工法の変更等</b> ■ 建設発生土を他工区へ流用するなど、コスト縮減を図った。							
対応方針	事業継続						
対応方針の決定理由	・以上の事業効果等を踏まえると、事業の必要性、重要性は高い。						
<b>事業概要図</b> 							

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。